



燃料節減テクノロジーの節目 ボッシュのスタート/ストップシステム用スターターモーター の累計生産個数が1,000万個に到達 あらゆるクラスの車両に組み込みやすいスターターモーター

2013年7月

PI 8149 SG Hn

- ▶ ボッシュのスタート/ストップシステム用スターターモーターの生産個数が 2007 年
末の量産開始から累計 1,000 万個を突破
- ▶ 標準的なドライビングサイクルで CO₂ 排出量を最大 5%削減し、燃費も向上

ボッシュのグローバル製造ネットワークにて生産された1,000万個目のスタート/ストップシステム用スターターモーターがついに先頃、ヒルデスハイム工場のラインから出荷されました。2007年に量産を開始して以来、この燃料向上に優れた製品の受注量は日々継続して増加しています。スターター&ジェネレーター事業部門長であるUlrich Kirschnerはこう述べています。「西ヨーロッパではすでに、スタート/ストップシステムが秒刻みで生産される新車に搭載される時代になりました。スタート/ストップシステムは数多くのモデルに標準装備されるようになり、当初はかなり意欲的とされていた、世界のCO₂排出量削減目標は早くも達成が確実となりました。このことは、ダイナミックに進展するスタート/ストップシステム市場にさらに弾みをつけています」。これほど大きな成功を収めた理由は、実にシンプルです。「スタート/ストップシステムが、燃費を著しく向上させるだけでなく、コストパフォーマンスも優れている製品だからです」(Kirschner)。今ではヨーロッパのほぼすべての自動車メーカーが、コンパクトカー、プレミアムセダン、小型トラック、さらにはパワフルなスポーツカーなどにもボッシュのスタート/ストップテクノロジーを組み込んでいるほか、燃費を著しく向上するこの技術への関心が米国や中国でも高まってきています。

新ヨーロッパドライビングサイクル(NEDC)の場合、スタート/ストップシステムによって燃費が向上し、CO₂排出量は最大5%削減できますが、NEDCの都市サイクルではさらに最大8%の削減が可能となります。交通量の多い都市部、特にラッシュ時には削減幅がよりいっそう大きくなるからです。このシステムが作動するまで、バックグラウンドで機能するさまざまなセンサー情報が分析されます。たとえば、バッテリーセンサーはバッテリーの充電レベルを測定し、確実にすぐに再始動できる状態である場合にのみ、停車時にエンジンをオフにします。もう1つの例が車内温度で、車内温度が低過ぎたり高過ぎたりするときは、室温が設定温度に達するまでエンジンが作動し続けます。また、DC/DCコンバーターは発進時に、ラジオやナビゲーションシステム、ハンズフリー電話

が電気ノイズなどによって中断することなく作動できるよう、電気システムの電圧の安定化を図ります。

走行中でも燃料消費量はゼロ

ポッシュのエンジニアは燃料消費量とCO₂排出量をさらに削減するために、エンジンがオフになる時間をさらに延ばす試みを続けています。まず実現しようとしているのが、車両が停止するまでのコースティング(惰性)走行時にエンジンをオフにすることで、2016年までには走行中、ドライバーが加速していない間もエンジンをオフにしたいと考えています。もちろん、このようにエンジンを長時間停止させても、あらゆる安全機能と快適機能がそのまま利用できることが前提になります。「走行タイプに応じてスタート/ストップシステムをいっそう強化すれば、さらに燃費を10%向上できると考えています」(Kirschner)。

報道用画像: 1-SG-19201

YouTube(動画)

マニュアルトランスミッション用のポッシュ製スタート/ストップシステム:

<http://bit.ly/19iwl4m>

オートマチックトランスミッション用のポッシュ製スタート/ストップシステム:

<http://bit.ly/1atoKDe>

報道関係対応窓口:

Jutta Hofmann

電話: +49 711 811-6408

自動車機器テクノロジーセクターはポッシュ・グループ最大の事業セクターです。2012年の売上高は31.1億ユーロで総売上高の約59%を占めています。自動車機器テクノロジーの売上により、ポッシュ・グループはリーディング・サプライヤーのポジションを確立しています。

全世界において約177,000人の自動車機器テクノロジーセクターの従業員が、内燃機関用噴射技術、代替駆動コンセプト、効率的そしてネットワーク化されたパワートレイン周辺機器、アクティブ/パッシブセーフティシステム、運転支援/コンフォート機能、ユーザーに優しいインフォテインメント技術やCar-to-CarおよびCar2Xコミュニケーションとコンセプト、オートモーティブアフターマーケット向けのサービスや技術という7つの事業分野で働いています。

ポッシュ・グループは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC(エレクトロニック・スタビリティ・コントロール)、ディーゼルシステム用コモンレールなどの重要な革新的自動車技術にも対応しています。

ポッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。2012年度の従業員数は約30万6,000人、売上高は525億ユーロを計上しています。また2013年初めからは、自動車機器テクノロジー、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制に移行しました。

ポッシュ・グループは、ロバート・ポッシュ GmbH とその子会社約360社、世界約50カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、サービス代理店のネットワークを加えると、世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売、サービスのグローバル・ネットワークが、ポッシュのさらなる成長の基盤です。

ポッシュでは2012年に約48億ユーロもの金額を研究開発に投じ、さらに全世界では4,800件以上の国際特許の基礎特許(第一国出願)を出願しています。私たちは革新的で有益なソリューションを提供

し、そのすべての製品とサービスを通して、人々を魅了し、人々の生活の質を向上させることを目的にしています。この方針に基づき、ボッシュは全世界において人と社会に役立つ革新のテクノロジーを提供し続けていきます。それこそが「Invented for life」です。

さらに詳しい情報は www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英文) www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス(英文)、ツイッター <http://twitter.com/BoschPresse> を参照してください。